

地域再生計画

1 地域再生計画の名称

豊見城市ワク・ドキこども未来プロジェクト

2 地域再生計画の作成主体の名称

沖縄県豊見城市

3 地域再生計画の区域

沖縄県豊見城市の全域

4 地域再生計画の目標

4-1 地域の現状

豊見城市は、県都那覇市の南に隣接し、面積 19.19 km²、人口 64,561 人（令和元年 5 月末）のコンパクトな街である。

本土復帰を境に那覇市のベッドタウンとして人口が急激に増加し、平成 14 年 4 月 1 日に地方自治法施行後「初」となる村から市への市政施行を行った。

豊見城市の人口推移は、国勢調査において、1970 年（昭和 45 年）の復帰前に 13,183 人であったのが、復帰直後（1975 年）には第 2 次ベビーブームに乗り 24,983 人（人口増加率：89.5%）となり、その後、順調に増加を続け、現在は約 65,000 人となっている。今後も人口増加は緩やかに続き、国立社会保障・人口問題研究所によると、2060 年に 73,088 人と推計している。一方で、年少人口（0 才～14 才）については、2020 年に人口比 19.78% で日本一であるが、2040 年には 17.62% まで減少するとの予測となっている（RESAS）。

また、産業振興も活性化しており、西海岸の豊崎地区においては、開発の進む瀬長島、美ら SUN ビーチや大型モール等が立地し、今後も大型ホテルや大型商業施設等の建設が予定されている。内陸部では、豊見城城址跡地において沖縄空手会館が立地し、沖縄伝統工芸の継承を目的とした工芸の杜の建設が進められている。

沖縄を代表とする観光地整備が進められているなか、本市における観光地点等

入込客数は、平成 27 年度で 462 万人だったものが、平成 30 年度で 700 万人に上るなど近年増加の一途をたどっている。また、観光客も多様化しており、多くの国から観光客が訪れグローバル化が進んでいる。現在、観光地点等入込客数の内、インバウンドは平成 27 年度で 21%、平成 30 年度で 30%と想定されている。

4-2 地域の課題

沖縄県においては、環境収容力に配慮した世界水準の「目的地型リゾート」化をリーディング産業として位置づけ、令和 3 年度までに入域観光客数 1,200 万人を目標としており、本市でも同様に観光地点等入込客数及びインバウンドの今後ますますの伸びが予測される。

そのような中、本市は人口動態にも示したとおり日本を代表する人財の宝庫であるにも関わらず、インバウンドに対応する人財不足等、国内外の観光客受け入れ態勢の整備が喫緊の課題となっている。こういった背景などもあり、グローバルな交流の機会が多くなっていくなか、未来を担うこども達の年少人口比率が高く人財の宝庫である本市の優位性を活かす施策が追い付いていないという課題を抱えている。

そのため、未来を担うこども達にグローバルな人財育成の場を提供する必要がある。

4-3 目標

上記の課題を解決するため、グローバル化する本市において、こども達に輝ける未来を提供できるような施策を展開し、こども達やその保護者にとって「魅力のあるまち」「選ばれるまち」になるために、特色ある人財育成の推進を図る必要がある。

日本一、年少人口比率の多いまち（市）でグローバルな人財育成を行い、今後とも増加するであろうインバウンドに対応することが可能となることで人財不足等の解決を目指しつつ、ひいてはグローバルな交流の世界に羽ばたく人財を育て、未来へつなぐこども達（年少人口）の増加を図り「持続可能な豊見城市」を目指すことを目標とする。

【数値目標】

事業の名称	K P I	現状値 (計画開始 時点)	目標値 (2024年度)	達成に寄与する 地方版総合戦略 の基本目標
日本一の人財育成 プログラム ～ 未 来への投資 ～	年少人口の社会増減数(5 年間)	+300人	+318人	政策1

5 地域再生を図るために行う事業

5-1 全体の概要

5-2のとおり。

5-2 第5章の特別の措置を適用して行う事業

○ まち・ひと・しごと創生寄附活用事業に関連する寄附を行った法人に対する
特例（内閣府）：【A2007】

① 事業の名称

日本一の人財育成プログラム ～ 未来への投資 ～

② 事業の内容

本市の産業振興に寄与するような人財や、ひいては世界に羽ばたく人財になるための特色ある人財育成の推進を図り、グローバルに活躍できる人財育成を行う。

未就学児向け人財育成

認定こども園等（認可外保育園以外）在園児向けに年齢に合わせたプログラムを実施するため、市内事業所及び国内外の有能な人財を派遣。

小学生向け人財育成

各学校等に講師等を派遣し、講座、講演、ワークショップ等を開催（スポーツ関連含む）

中学生から高校生にかけての人財育成

所定の施設、事業所にて実地を通じて、グローバルに活躍でき

るスキル等を身につけるための実地経験を養う。

なお、本事業に要する経費は、「豊見城市地域再生計画基金」に積み立てるものとする。

本事業は、豊見城市地方版総合戦略の政策 1「子どもが活きる夢と希望にみちたまち」の 1-1「子どもの未来支援」に位置付けられる事業であり、政策 1 の達成に寄与するものであるほか、政策 1 を推進し、持続可能なまちづくりとするための K P I に寄与する事業である。

【具体的な事業】

- ・各種講座等の実施
- ・各種講演会、研修等の実施
- ・実地体験、実践経験等の支援

③ 事業の実施状況に関する客観的な指標（重要業績評価指標（K P I））

4 の数値目標に同じ。

④ 寄附の金額の目安

2, 971, 000 千円（2020 年度～2024 年度累計）

⑤ 事業の評価の方法（P D C A サイクル）

外部有識者による目標の達成状況などの効果検証を毎年度 1 回以上実施する。検証後、市 H P や広報紙において公表する。

⑥ 事業実施期間

2020 年 4 月 1 日から 2025 年 3 月 31 日まで

5－3 その他の事業

該当なし

6 計画期間

2020 年 4 月 1 日から 2025 年 3 月 31 日まで